

## ▼ハイヤスタ錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】 ツシジノスタット Tucidinostat 【分類】 抗悪性腫瘍剤 [ヒストン脱アセチル化酵素 (HDAC) 阻害剤]

【単位】 ▼10mg/錠

【常用量】 1回 40mg を週 2回 [3 または 4 日間隔]

■副作用により 1回 30mg または 20mg に減量

【用法】 食後

【透析患者への投与方法】 設定されていない (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 腎機能低下により全身 CL が低下する (1)

週 2 回の投与方法では蓄積性は小さいと思われる、忍容性をみながら投与量を決定するのが合理的と思われる (5)

【特徴】 HDAC 活性阻害によりヒストン等の脱アセチル化が阻害され、細胞周期停止及びアポトーシス誘導が生じることにより腫瘍増殖を抑制する。再発又は難治性の成人 T 細胞白血病リンパ腫に適用。ベンズアミド系。

【主な副作用・毒性】 血球減少、間質性肺疾患、感染症、不整脈、QT 延長、消化器症状、倦怠感、味覚障害、皮膚症状、発熱、高血圧など

【安全性に関する情報】

【F】

【tmax】 3～6hr (1)

【代謝】 CYP3A4 で代謝 (1)

【排泄】 尿中未変化体排泄率 25% [po, 72hr まで] (1) P-gp, BCRP, MRP2 の基質 (1)

【CL/F】 6.62～8.97L/hr (1) 全身 CL には CCr が関連 (1)

【t1/2】 17～22hr (1)

【蛋白結合率】 89% (1)

【Vd/F】 206～231L/body (1)

【MW】 390.42

【透析性】 資料なし (1) 除去されにくいと思われる (5)

【O/W 係数】 LogP=2.3 (1)

【相互作用】 CYP2C19, 3A を阻害 (1) MATE2-K を軽度阻害 (1)

【肝障害患者への投与方法】

【小児 CKD 患者における報告】

【妊婦・授乳婦への投薬】

【主な臨床報告】

【更新日】 20210821

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。